

## 令和4年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	議会運営支援事業					
総合計画 重点施策	行政運営の効率化	組織目標	○	担当部	議会事務局	担当課 議会事務局

<b>事業目的・概要</b>
<p>新型コロナウイルス感染症のまん延等を背景に、従来型の議会運営方法や議会活動が難しい状況においても、ICTを活用し、平時も有事も議会運営が瑕疵なく円滑にできるよう調査研究し、議会の権能を維持向上するための方策を見出すとともに、「役に立つ議会」に向けた調査活動を支援していく。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
オンラインを用いた委員会や議会事業数 (1月から12月までの暦年指標)	回	55	41	30	30

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>通年 瑕疵のない議会運営</p>	<p>通年において、従来型の本会議・委員会をはじめとした議会運営に加え、ICTフォローアップ研修の実施によりタブレット等の技術向上を図るとともに、オンラインを用いた事業のサポートを実施した。これにより議会の各委員会をはじめ、オンラインによる提出予定議案説明や感染症対策会議、建設経済常任委員会でのオンラインを活用したハイブリッド型視察、オンラインを活用した視察受入、市立中学校との協働事業など、議会運営にとどまらない幅広い取組へとつながった。</p>	<p>B (概ね予定どおり進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	<p>現段階で既の実施しているオンラインによる委員会運営をはじめとして、オンラインを活用した取組は今後も継続して取り組んでいく。また、その前段として、オンラインであるか否かを問わず、議会運営自体を瑕疵なく円滑に行うべく、今後も本事業を堅実かつ着実に取り組んでいく必要がある。</p>

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金			<p>令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で議員派遣及び各種行事及びそれに伴う政務活動費の支出が少なかったが、令和4年度は一定の事業が行われたことに伴い増額となった。令和5年度も議員研修会講師謝礼を増額しているとともに、議員・委員派遣旅費の増加を見込み、予算額を増額している。</p>	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	4,561	5,973		8,218
事業費計(A)	4,561	5,973	8,218	<b>協働の取組・方向性</b>	
人件費	正規職員数	7	7	<p>デモテック戦略四者協定により、タブレット内書棚システム及び採決表示システムのアプリの無償貸与を受けている。(令和5年度末までの予定) また、議場内カメラ機器一式、オンラインビデオ会議時のAI字幕システム等を音声テック協定により無償提供され、委員会や市の各種オンライン事業等でも活用している。</p>	
	業務時間	4,004	3,516		3,516
	その他職員人件費				
人件費計(B)	12,697	11,135	11,223		
トータルコスト(A+B)	17,258	17,108	19,441		

# 令和4年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	議会情報発信の充実事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	行政運営の効率化	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	議会事務局	<b>担当課</b>	議会事務局

<b>事業目的・概要</b>
<p>議会開会中・閉会中を問わず、市ホームページ、Facebookページ、メールマガジン(ひびきメール)といったデジタル媒体を中心に、議会の動きや議論などを速やかに、かつわかりやすく発信する。同時に、紙媒体によるひびき概要版を発行し、議会の活動をわかりやすくお知らせしていく。</p> <p>情報発信に当たっては、音声認識システムやライブ配信等のICTも活用し、即時性・迅速性を意識した取組を推進する。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
市議会インターネット配信視聴回数	回	29,974	40,454	45,000	50,000
〃      チャンネル登録数	件	357	498	600	700
Facebookページフォロワー数	件	625	690	800	900
会議録検索システムアクセス数	件	11,656	10,333	12,000	13,000
ひびきメール登録数	件	1,467	1,418	1,500	1,500

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>通年実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音声認識システムを用いて会議録等を作成。閉会後約1週間程度で本会議会議録の速報版を取手市ホームページに掲載するとともに、提出議案や委員会記録も掲載する。</li> <li>無料動画配信サイトを利用した本会議映像のライブ配信のほか、録画配信も実施する。</li> <li>デジタル媒体による議会だより「ひびき」の発行のほか、紙媒体による議会だより「ひびき概要版」を発行し、希望者や広報とりで同封により直接郵送で配布する。また、市議会議員を経由しての市民への発信や、市内公共施設・駅・郵便局・一部スーパー・コンビニエンスストアに配置する。</li> <li>「取手市議会・議会事務局Facebookページ」「ひびきメール」により積極的に情報発信し、フォロワー数や登録者数を増やす。</li> </ul>	<p>左記の事業スケジュールに沿った取組は実施することができた。</p> <p>効果及び課題としては、市議会インターネット配信の視聴回数やチャンネル登録数の増加等、動画配信関連に大きな伸びがあった。その一方で、会議録検索やひびきメールの登録が伸び悩み、従来型のデジタル素材の利活用に課題があるとも考えられる。</p> <p>議会報ひびきについては、会議内容の要約機能も活用したデジタル媒体を主体としながら、補完措置として紙媒体によるひびき概要版を発行しているところである。デジタルと紙媒体の特性を踏まえながら、議会情報の細やかな発信に寄与しているところである。</p>	<p>B (概ね予定どおり進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	デジタル媒体を主体としながら、紙媒体による補完を併用した取組を今後も継続していく。また、会議録視覚化システムの活用による会議録への心理的抵抗の低減やアクセス性の向上、会議内容の要約機能の活用によるさらなる情報発信の強化といったICTの活用についても、引き続き試行的に取り組んでいく。

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金			令和4年度から会計年度任用職員報酬が議会費に移管されたことにより増額となっている。加えて、紙媒体の議会だより「ひびき概要版」の印刷コストの増加及び令和5年度は市議会議員の改選に伴う発行回数の追加に伴い、増額を見込んでいる。	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,037	2,762		2,942
事業費計(A)				2,037      2,762      2,942	
人件費	正規職員数	7	7	音声テック協定に基づき、官民連携による新たな情報発信ツールを活用した事業を試行実施している。	
	業務時間	8,890	8,838		8,900
	その他職員人件費				
人件費計(B)				28,190      27,990      28,409	
トータルコスト(A+B)				30,227      30,752      31,351	

## 令和4年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	市民の理解・関心度を高める事業支援						
<b>総合計画 重点施策</b>	行政運営の効率化	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	議会事務局	<b>担当課</b>	議会事務局

<b>事業目的・概要</b>
<p>オンラインを併用して市民との意見交換会や学生との事業等での議員等との直接対話を通じ、議会をより身近に感じていただく。同時に、対話の中から政策提言につながるような素材を拾い上げ、市民や学生と一体となった政策提言の支援を行う。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
市民との意見交換会の参加者数 (オンラインによる意見交換会参加者及びPTAとの意見交換会の参加者を含む。)	人	59	60	60	65
中学生等との対話事業を実施した学校数	校	0	2	2	3
市民との意見交換会・学生からの提案で政策提言につながった案件数	件	0	0	1	2

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民との意見交換会 取手市議会基本条例では意見交換会を年1回以上行うものとしているが、複数回の開催を予定する。</li> <li>・中学生等との連携事業の実施 取手市立中学校各校に呼びかけ、事業の実施を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民との意見交換会 令和4年5月・令和4年11月に開催</li> <li>・中学生とのオンライン対話事業の実施 令和4年11月 永山中学校 令和4年12月 藤代南中学校</li> <li>・PTAとの意見交換会(総務文教常任委員会) 令和4年7月に開催</li> </ul>	<p>B (概ね予定どおり進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	<p>議会をより身近に感じる取組は、社会への参加意識の涵養や主権者教育の観点からも有効であり、また、直接の対話を通じた地域課題の共有や相互理解にも資するものである。オンラインの活用を通じた多様な世代の参加機会の提供とあわせ、今後も継続していく。</p>

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	-----	-----	意見交換会の案内ポスターの用紙代と意見交換会・中学生等との連携事業の際のアンケートの用紙代が事業費となる。オンラインで使用するZoomは既存のアカウント使用のため経費は発生していない。	
	県支出金	-----	-----		
	地方債	-----	-----		
	その他	-----	-----		
	一般財源	1	2		3
事業費計(A)	1	2	3	<b>協働の取組・方向性</b>	
人件費	正規職員数	7	7	中学校との協働事業であり、今後も同様の取組を行う方向性である。また、市民との意見交換会にあっては、市議会議員により構成された市民との意見交換会ワーキングチーム員が分担したり、総務文教常任委員会ではPTAとの意見交換会を開催するなど、地域も巻き込んだ取組としている。	
	業務時間	112	280		448
	その他職員人件費	-----	-----		-----
人件費計(B)	355	887	1,430		
トータルコスト(A+B)	356	889	1,433		

## 令和4年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	デモテック戦略事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	行政運営の効率化	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	議会事務局	<b>担当課</b>	議会事務局

<b>事業目的・概要</b>
<p>官民学連携によるデモテック戦略事業を令和2年度から締結して推進している。完全オンライン・一部オンラインによる模擬議会の開催などを通じ、新しい民主主義や議会創造のため、ICTを活用した新たな議会運営・ルールづくりの調査研究を実施する。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
官民学等連携によるデモテック推進セミナー等の開催・協力	回	2	3	2	2
デモテックに関するオンライン視察受入・研修講師	回	41	82	50	50

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>通年 オンライン本会議用の会議規則案策定に向けた模擬本会議の実施やデモテック戦略特別委員会の開催、全国に活動の目的や理解を広めるための研修会への協力</p>	<p>前年度から継続してオンライン模擬本会議の開催や協定関係者との課題の共有・情報交換を通じ、オンラインでの議事運営における課題の抽出や課題解決への方向性を模索する取組を継続している。 大きな課題としては議場内選挙運営がある。取手市議会のデモテックの取組は視察受け入れのみならず、協定関係者による各種セミナー開催時に議長はじめ市議や議会事務局職員が登壇し、全国の地方議員や行政関係者等に周知している。</p>	<p>B (概ね予定どおり進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	<p>令和6年2月に現在の市議会議員の任期が満了となることを踏まえ、現在の任期中にこれまでの検討の結果を示すことを目途に、協定関係者によるシステム開発をはじめ、模擬や関係者との情報共有、協議を密に行っていく。</p>

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金			参考人の出席を要請した回数による増額である。	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	17	0		27
事業費計(A)	17	0	27	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	7	7	官民学連携によるデモテック戦略事業(ICTを活用した新たな議会運営・ルールづくり)を実施している。	
	業務時間	240	98		542
	その他職員人件費				
人件費計(B)	761	310	1,730		
トータルコスト(A+B)	778	310	1,757		